

2016/10/15

茨城大学地球変動適応科学研究機関（ICAS）設立 10 周年記念シンポジウム

15:00-16:20 ワークショップ

「持続可能な社会の実現に向けた ICAS の取り組みへの提言」

基調講演後には、農業、生態系、地域防災、国際・海外問題といったさまざまな切り口から、ICAS の今後の取り組みへの提言をまとめる参加型ワークショップを実施し、シンポジウムの来場者全員で持続可能な未来や ICAS の展望について議論します。

各ワークショップではファシリテーターらがはじめに話題提供をした後に、「持続可能な社会の実現に向けた ICAS の取り組みへの提言」について、参加者の皆様から率直なご意見、ご提案を頂く予定です。頂いたご意見は、その後の「全体討論」にて来場者全員で共有します。

第 1 グループ：持続可能な農業（人文学部講義棟 11 番教室）

[ファシリテーター：農学部 増富祐司准教授]

高齢化、TPP、気候変動、低い自給率など日本の農業は問題山積です。これらの問題をどのように克服し、「持続可能な農業」を達成するのか？本セッションでは現状の日本の農業問題を整理した上で、持続可能な農業の達成に向けた戦略と必要な研究課題について議論します。

第 2 グループ：持続可能な生態系（人文学部講義棟 12 番教室）

[ファシリテーター：理学部 及川真平准教授]

わたしたちの生活は、生態系から受ける様々な恩恵（生態系サービス）によって支えられています。この恩恵を持続的に享受するためには、生態系の複雑な相互作用の構造と機能を理解することが不可欠です。この問題について参加者と重要性和研究課題を共有し、持続可能な生態系に向けた今後の展開について議論したいと思います。

第 3 グループ：防災・減災・地域連携（人文学部講義棟 13 番教室）

[ファシリテーター：人文学部 伊藤哲司教授]

ICAS ではこれまで、ベトナムなどの海外の災害に対する脆弱性に目を向けてきました。また東日本大震災や平成 27 年 9 月関東・東北豪雨災害等の調査も展開してきました。近年は、水害のあった常総との地域連携も活発です。これらの実績を踏まえて、今後の防災・減災・地域連携のあり方について議論します。

第 4 グループ：国際・海外問題（人文学部講義棟 14 番教室）

[ファシリテーター：工学部 藤田昌史准教授、人文学部 長田華子准教授]

ICAS はこれまでに、太平洋やアジア地域における気候変動の影響評価や適応策の研究を進めてきました。近年では、その他の国際・海外問題研究も活発に実施しています。

これらの実績を踏まえて、あらためて文理融合等の学際研究やさらには社会実装を目指した超学際研究の展開について議論し、今後の ICAS の国際・海外問題研究について考える機会とします。

第5グループ：研究・教育ネットワーク（人文学部講義棟10番教室）

[ファシリテーター：ICAS 田村誠准教授]

ICAS はこれまで学外の機関と連携して研究、教育を推進してきました。本グループでは一般社団法人サステナビリティ・サイエンス・コンソーシアム(SSC)共同教育プログラム、日越大学、AIMS プログラムなどの連携教育、他機関との研究事例を紹介し、ICAS を取り巻く研究ネットワークの展開について議論します。サステナビリティ学教育プログラムにゆかりや関心のある学生、修了生の参加も心よりお待ち申し上げます。